

人事院契約監視委員会 第32回会議 議事概要

○ 開催日時

令和7年2月7日（金）10:00～12:00

○ 開催方法

対面及びWeb開催

○ 人事院契約監視委員会（敬称略）

委員長 工藤裕子（中央大学法学部教授）

委員 西出順郎（明治大学ガバナンス研究科専任教授）

野澤正充（立教大学法学部教授・松田綜合法律事務所弁護士）

○ 議事概要

1 令和6年度上半期に人事院が締結した契約に関する審査

(1) 入札及び契約手続の運用状況等

事務局から、令和6年度上半期の契約案件に関し、一般競争契約（41件）、競争性のある随意契約（企画競争・公募）（23件）及び競争性のない随意契約（41件）についての内訳及び入札その他の契約手続の概況等が報告され、特に意見や質問はなく、報告は了承された。

(2) 抽出契約案件の審査

契約案件の中から次の①から③までの3件を対象として取り上げることが決定され、各案件について、契約の内容、手続等に関する事務局及び各調達原課の説明を聴取し、次のような質疑を経て、委員会の結論として特に問題ないとして了承された。

① 〔一般競争入札（1者応札）〕

契約件名：令和6年度人事院本院自動車運行管理支援業務

契約相手方：株式会社ホクトエンジニアリング

契約金額：23,212,200円（うち消費税等 2,110,200円）

契約日：令和6年4月1日

担当部局：会計課

委員の意見・質問	回答・説明
・予定価格が安すぎたのは、参考見積取得後の人件費高騰の結果だというのが、短期間でそんなに高騰するのか。市場では給与がそこまで高騰していない印象がある。	

<ul style="list-style-type: none"> ・事前見積もりは一般的には3者ほど取らないといけないのではないか。この安い見積もりの額で進めて良いかについて、もう1者取って相場観を見た上で検討すべきであった。 ・他省庁よりも仕様書の要件が厳しめなのが気になる。他省庁の仕様書と比較したりしなかったのか。 ・要件を緩和したのが果たして良かったのかという疑問があるかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書を入手した全業者に依頼はしたが、2者のみの提出であった。今後は3者見積もりを徹底したい。 ・前年度は5者応札があり予定価格内で契約できたので特に仕様の問題はないと判断し手続を進めたものである。 ・これまでの事故実績等を踏まえると、要件緩和によりクオリティが下がったとは思っていない。
---	---

(結論) 委員会としての意見は、総合的に問題なしとする。

② [一般競争入札(1者応札)]

契約件名：研修棟他自動制御機器交換工事

契約相手方：パナソニック EW エンジニアリング株式会社 東京本部

契約金額：16,500,000円(うち消費税等1,500,000円)

契約日：令和6年9月27日

担当部局：公務員研修所

委員の意見・質問	回答・説明
<ul style="list-style-type: none"> ・元々パナソニックの機器で他の業者が参入しにくいいため、1者応札も仕方がない。 ・他業者の参入の可能性を高めるには、機器の総入れ替えしがなく、現状では1者応札は免れない。 ・壊れてから対処するのではなく、各機器の修繕や入れ替えの計画を立てておいた方が良かったのではないか。修繕計画は立てているのか。 ・人件費高騰の影響等があるので、より良い研修実施のためにも修繕計画の前倒しを進めて欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画については検討中であるが、金額も規模も大きくなるので、官庁営繕を担当する国土交通省とも連携をしながら進めたい。

(結論) 委員会としての意見は、総合的に問題なしとする。

③〔随意契約（競争性のない随意契約）〕

契約件名：令和6年度クラウドサービスを活用した職員情報の管理・共有システムの提供業務

契約相手方：株式会社カオナビ

契約金額：(1)月額（700メンバーの場合） 193,917円
 (800メンバーの場合） 215,477円

(2)令和6年6月～令和7年3月まで (1)の月額のほか
 6,600,000円

契約日：令和6年4月1日

担当部局：人事課

委員の意見・質問	回答・説明
<ul style="list-style-type: none"> ・カオナビ以外はないと思うが、一般競争契約と随意契約の振り分けはどうなっているのか。 ・令和5年度の契約時に6年度の契約についても想定すべきであった。 ・仕様書がしっかり固まっていれば、本件のような随意契約はなかったのではないかと感じる。今後、同様の案件では、仕様書を固めるという意識を持って進めて欲しい。 ・このシステムを令和6年度から導入するという選択肢はなかったのか。また各省庁の取組はどうなっているのか。 ・複数年度が前提であるならば、国庫債務負担行為を活用することも検討する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の一般競争による契約額の単価を6年度はそのまま随意契約により単価契約とした。 ・令和5年度当初から検討していたが仕様書を固めるのに時間がかかってしまった結果、この時期の調達となってしまった。 ・令和6年度から導入という点では、4月当初に人事評価の業績目標を定める都合上、3月中にシステムを導入する必要があった。他省庁については、デジタル庁や内閣人事局においてカオナビの導入実績があると承知している。

(結論) 委員会としての意見は、総合的に問題なしとする。

2 「令和6年度人事院調達改善計画の自己評価結果（上半期）」

事務局から第31回契約監視委員会です承された「令和6年度人事院調達改善計画」の達成状況に関する自己評価結果（※1）について説明し、概要記載の質疑を経て了承された。

（概要）

委員からの意見・質問
<ul style="list-style-type: none">・オープンカウンターは、人事院の規模感では馴染まないのではないか。大きい省庁での例が多いと思われるので、オープンカウンターの記載を今後も続けるかは検討した方が良い。・障害者就労施設からの調達にシフトする方が、人事院に馴染むのではないか。

（※1） 後日、人事院ホームページに「令和6年度人事院調達改善計画の自己評価結果」を掲載。

3 「令和7年度人事院調達改善計画（案）」に対する意見具申

事務局から「令和7年度人事院調達改善計画（案）」（※2）について説明し、概要記載の質疑を経て了承された。

（概要）

委員からの意見・質問
<ul style="list-style-type: none">・Ⅱの「(3) 情報システムに係る調達に際して、仕様の必要性・妥当性のチェック」、「(4) 1者応札（応募）」解消に向けた取組の推進」を頑張って欲しい。・今後、どこに注力するか、メリハリをつけた方が良い。新たな課題を中期的に検討して欲しい。・情報システムといったIT系は霞が関の他省庁でも入っているので、オール霞が関で必要な情報を共有できれば1者応札も避けられるのではないか。

（※2） 人事院ホームページに「令和7年度人事院調達改善計画（案）」を掲載。

以 上